

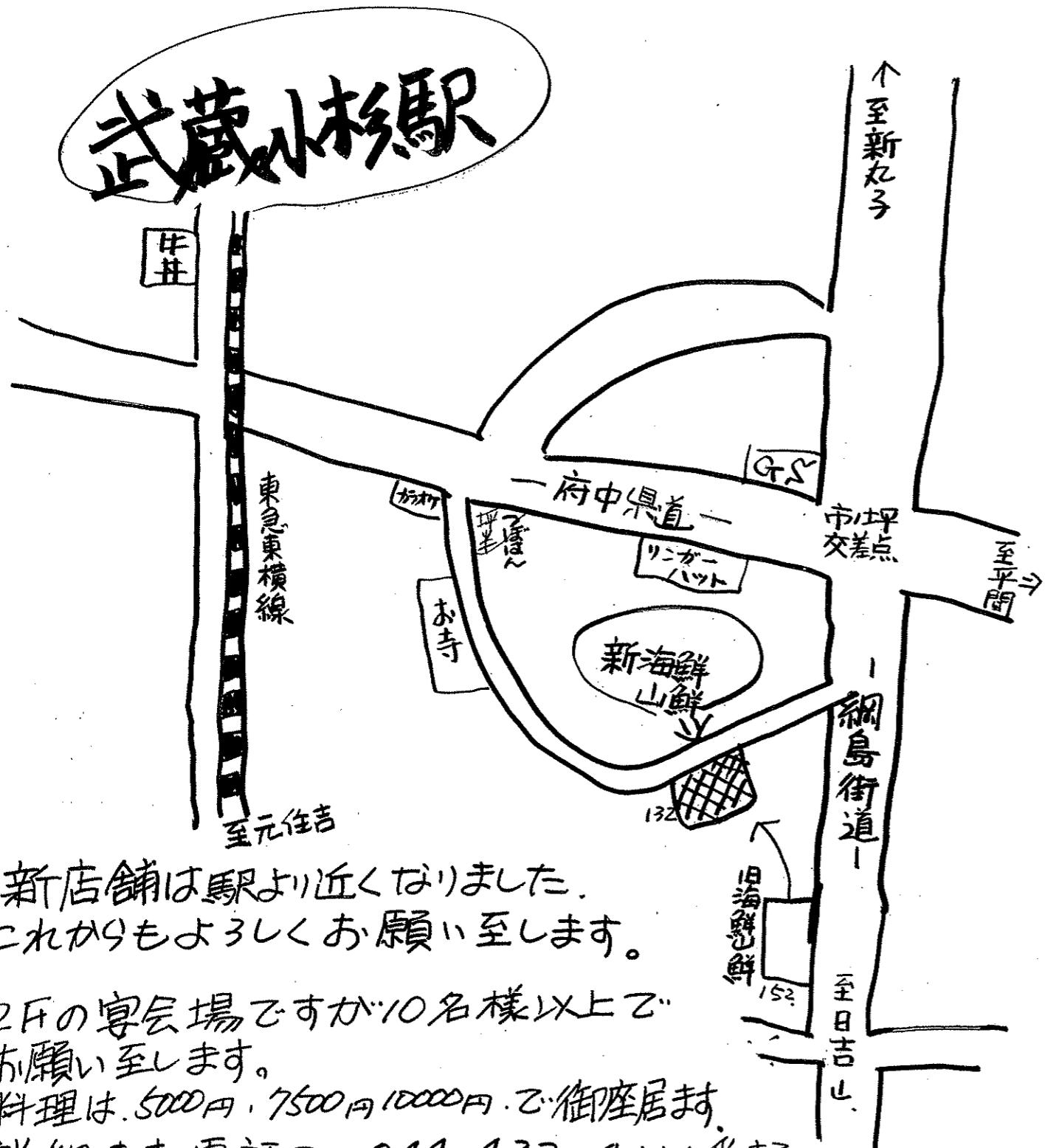
海」便り 立冬過ノ46

前略答へん様。

綱島街道の道路拡張で新店舗をかまえる事で、うちこち見て回りましたが今の店より150m位駅よりの店舗が開いたのでそこのにきました。2階建てであります、1階が18席、2階は20席の宴会室、という店舗であります。台所なども正に勝手が違つてます。今まで大変な事だなあと魚づ記であります。この時期旨、肴は、鯖も脂が乗り、ベタ塩庖丁を入れ、皮目を火であぶり焼き、皮と身の間の脂が三ツジツと、そこに酢だちをいれます。まあ冬の間、松輪の鯖の1kg以上のおおこねは、づい」というのは、本有るが無分の「あおこねは、づい」というのは、鯖は、1kg300円するので、一本150円以上どう、鯖サマです。しつとりしていい良い脂に包まれてます。半身の人前取って900円で売つてます。入れると、うふふといつ、鯖サマですか、まあ、旨からじょうかないかと奥方に伝票を隠します。

九月より活の皮は、最もほかほか入荷してきました、一尾600g、800g、という大物です。活きた皮は、その肝醤油のじゅうたは、食べた人が、おりの店舗が開いたので、そこにはありました。柳もし鰻も冬の魚です、北陸の方では、かかれ、などと呼ばれてます。千物にして食べますが、30cm以上はオレンジより濃い卵を持っています。六対一位の酒壇を作り、三時間固位つけます。千物は、市場の生で1000円以上するのです。人にかけますと、本物は、市場の生で1000円以上するのです。身も、フワと膨らみ茜色の卵が浮き出でて、このままです。身も、真綿のよう、白く軽く滋味豊かな味です。いい酒飲めたら、なります。魚の子持ちも入荷中です。昨年位より大きくなりました。魚の子持ちも入荷しました。秋田の人は、昔は、こんなものあつたりだった等と申しますが、南の方達は、あまり知らないので、卵がぬるいと糸をひきます。火の通った所の卵は、アチアチであります。温燶などでやります。よね。

黒鰻も卵が入る前で、身の内の脂が充実してます。鯖は、同じように皮目をあぶると、もう三ツジツです。酢飯と合つたのに、ぎり寿司、押し寿司も良い肴になります。冷えた吟醸酒もビックリしますね。うたまらへでは、店で待つてます。



新店舗は駅より近くなりました。
これからもよろしくお願ひ至します。

2Fの宴会場ですか10名様以上で
お願い至します。

料理は、5000円、7500円、10000円で御座居ます。

詳細は、お電話で、044-433-4111番まで。

神奈川県川崎市中原区市坪132番に住所
が変りました。

生きているものですね。
冬の珍味と言えば、白子、鯖肝、生子、唐墨、ウーリ温燶ですか。
ひやおろし、熟成酒や、日本酒、日本酒です。生の白子、ほん酢をソレッ。
分らぬでしよう。独特の甘旨さがあります。一尾600g以上で、
九月より活の皮は、最もほかほか入荷してきました、一尾600g、800g、